

安売り卵の実態調査報告

PASKO

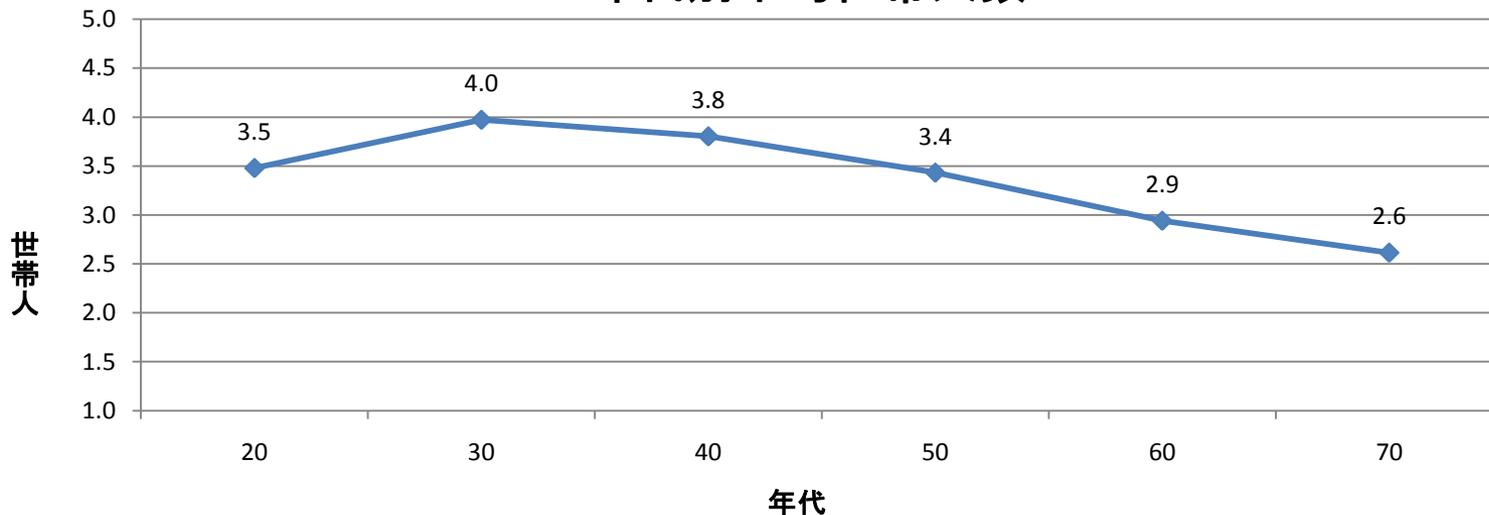
奥田和久

調査内容

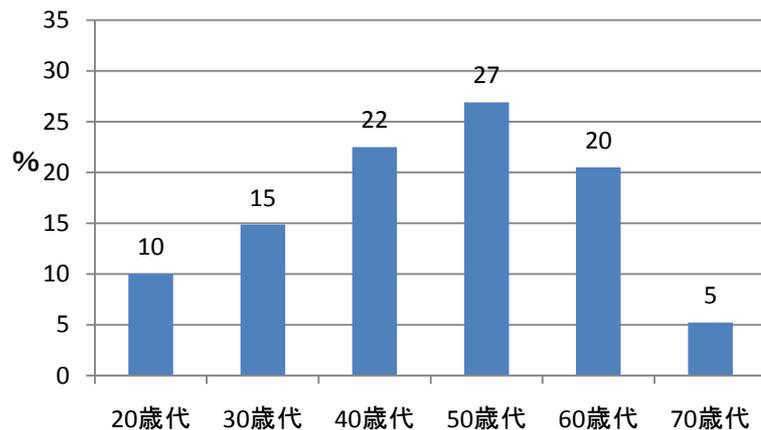
- 主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査
- 特売チラシ・広告による激戦地区の動向
- 特売卵の品質調査
- まとめ

主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

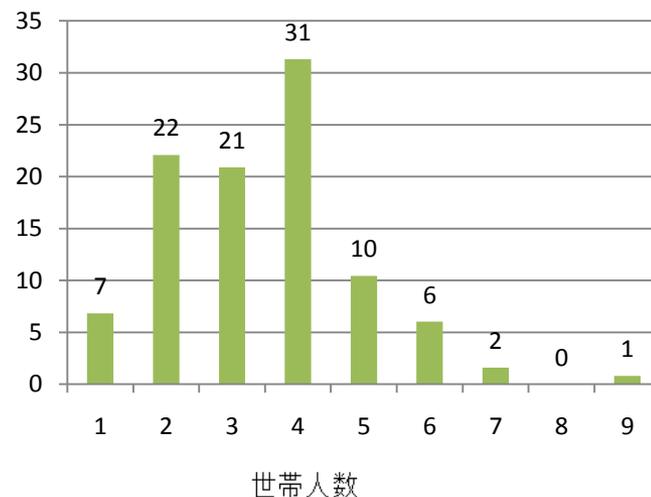
年代別平均世帯人数



年代別構成比

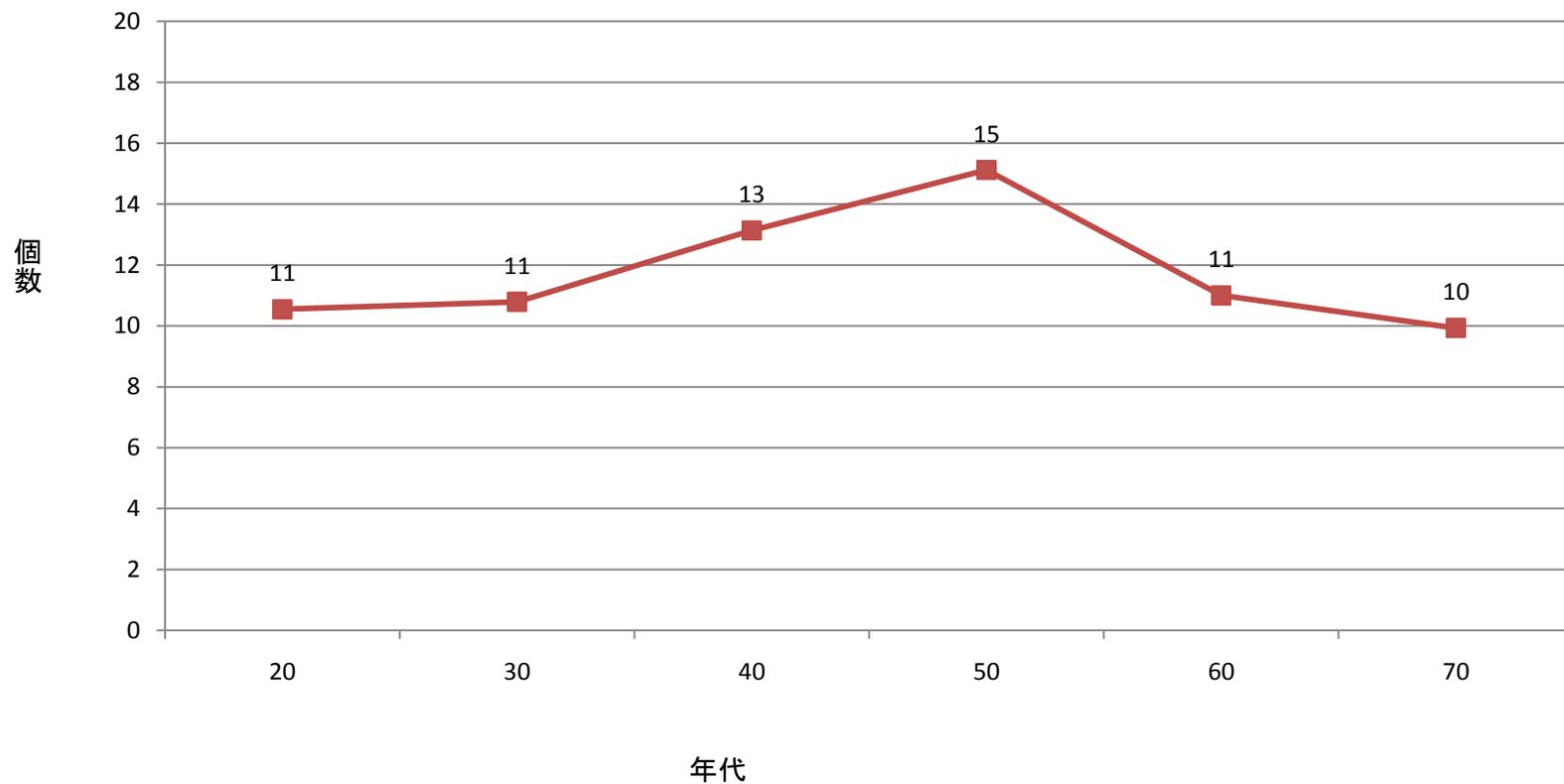


世帯人数構成比



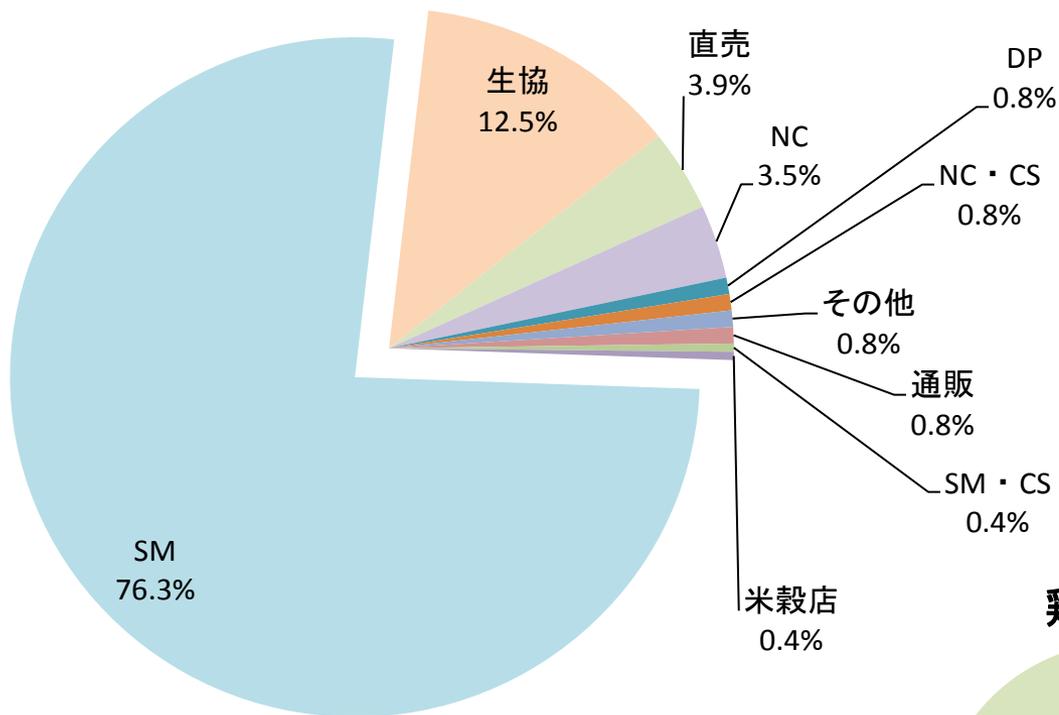
主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

平均 購入個数/週・世帯

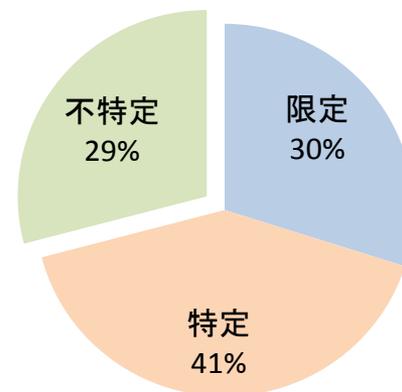


主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

鶏卵を購入する店舗の種類

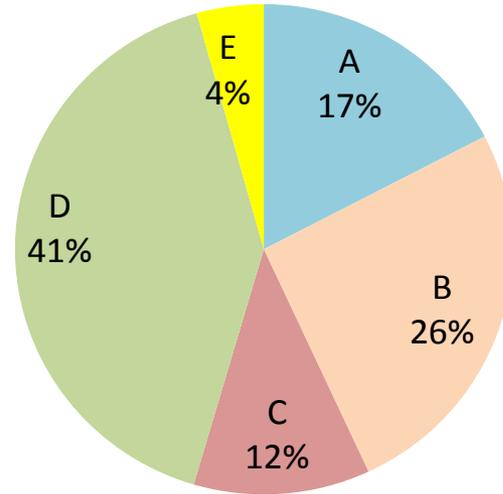


鶏卵を購入する店舗の限定度



主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

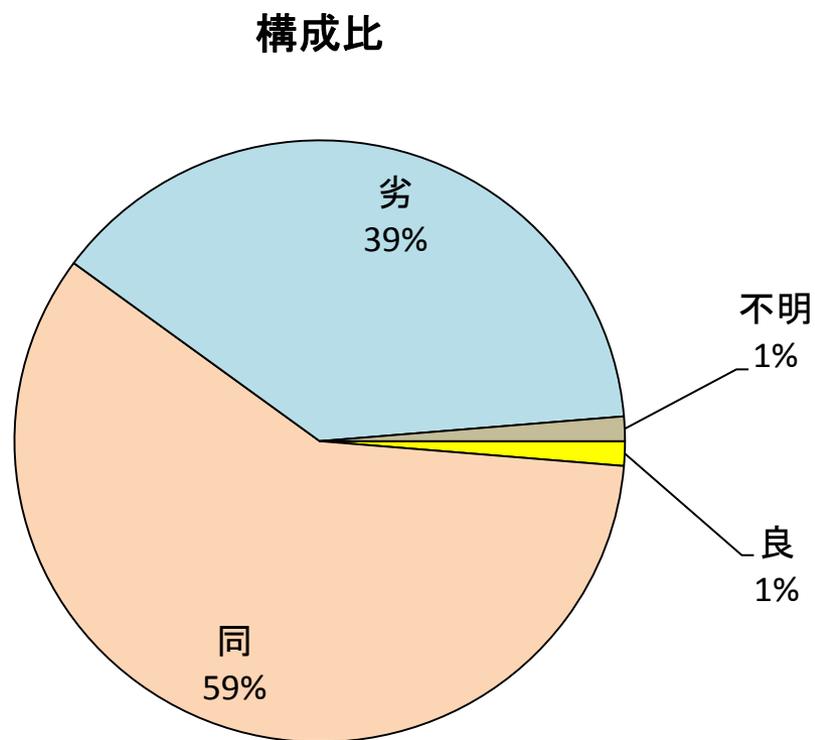
・安売り(特売)卵の購入について



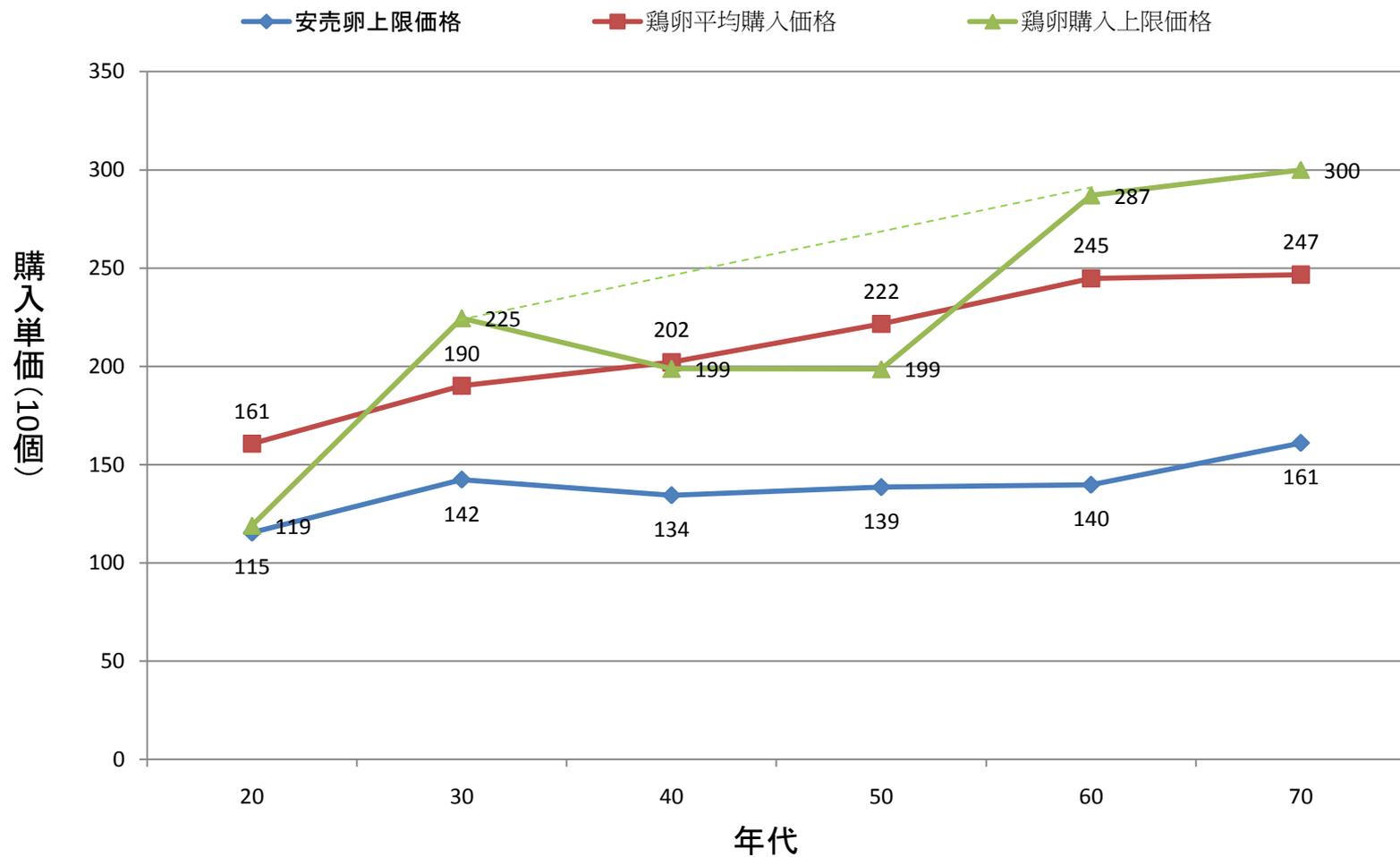
A	17	生活防衛上、安売りは大いに歓迎し、店舗に関わりなく購入する。安売り(特売)情報は常に注目している。
B	26	普段の店舗内で安い卵があれば銘柄に関係なく購入する。
C	11	普段購入する卵の銘柄を特定しているがその特売があれば在庫があっても購入する。
D	41	品質が良く安心・安全が確認できる商品が正当な価格であれば多少の価格差に関わらず通常品を購入する。
E	4	特定の高級銘柄卵以外購入しない。

主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

- 安売り卵の品質評価

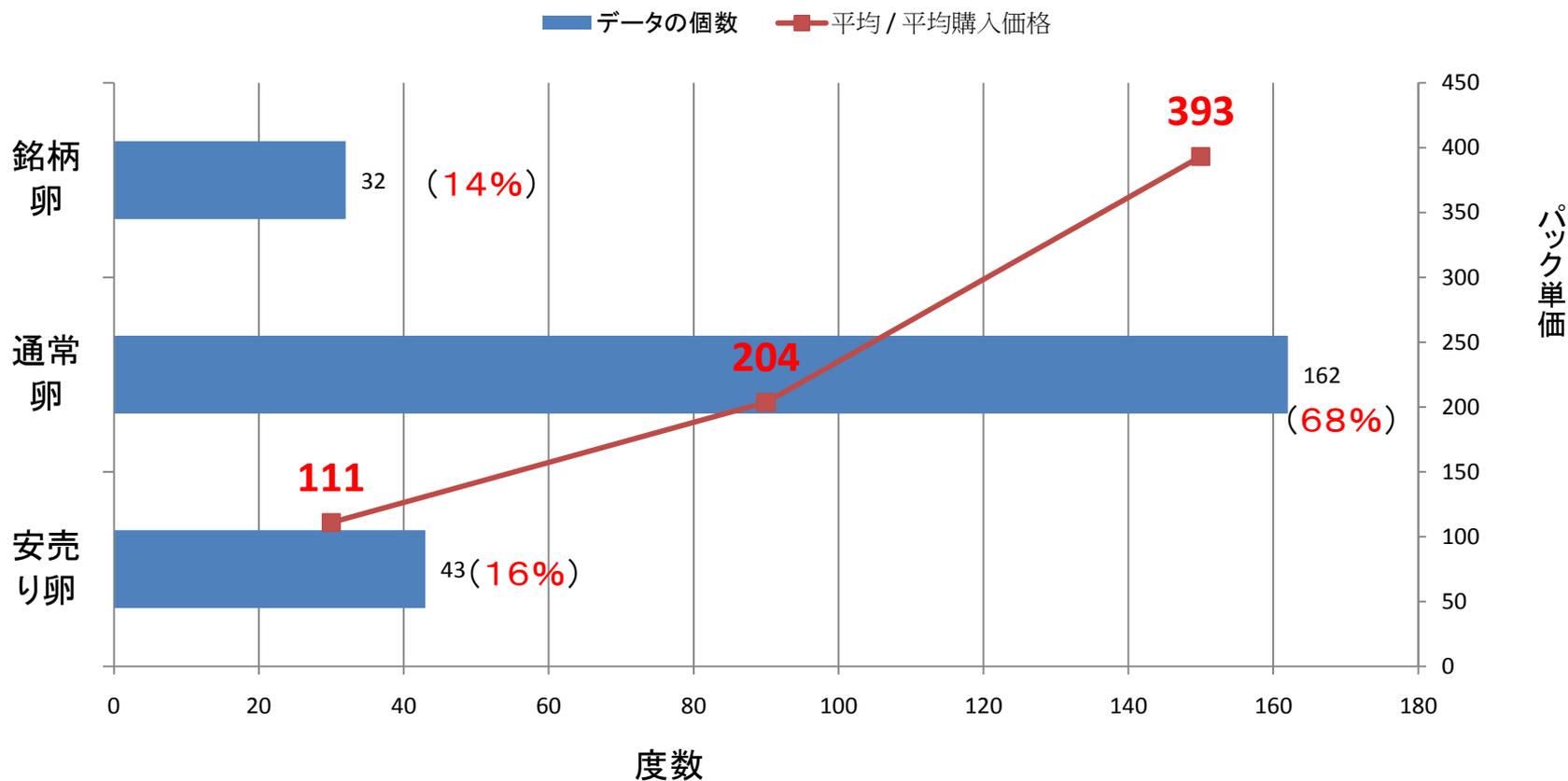


主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査



主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

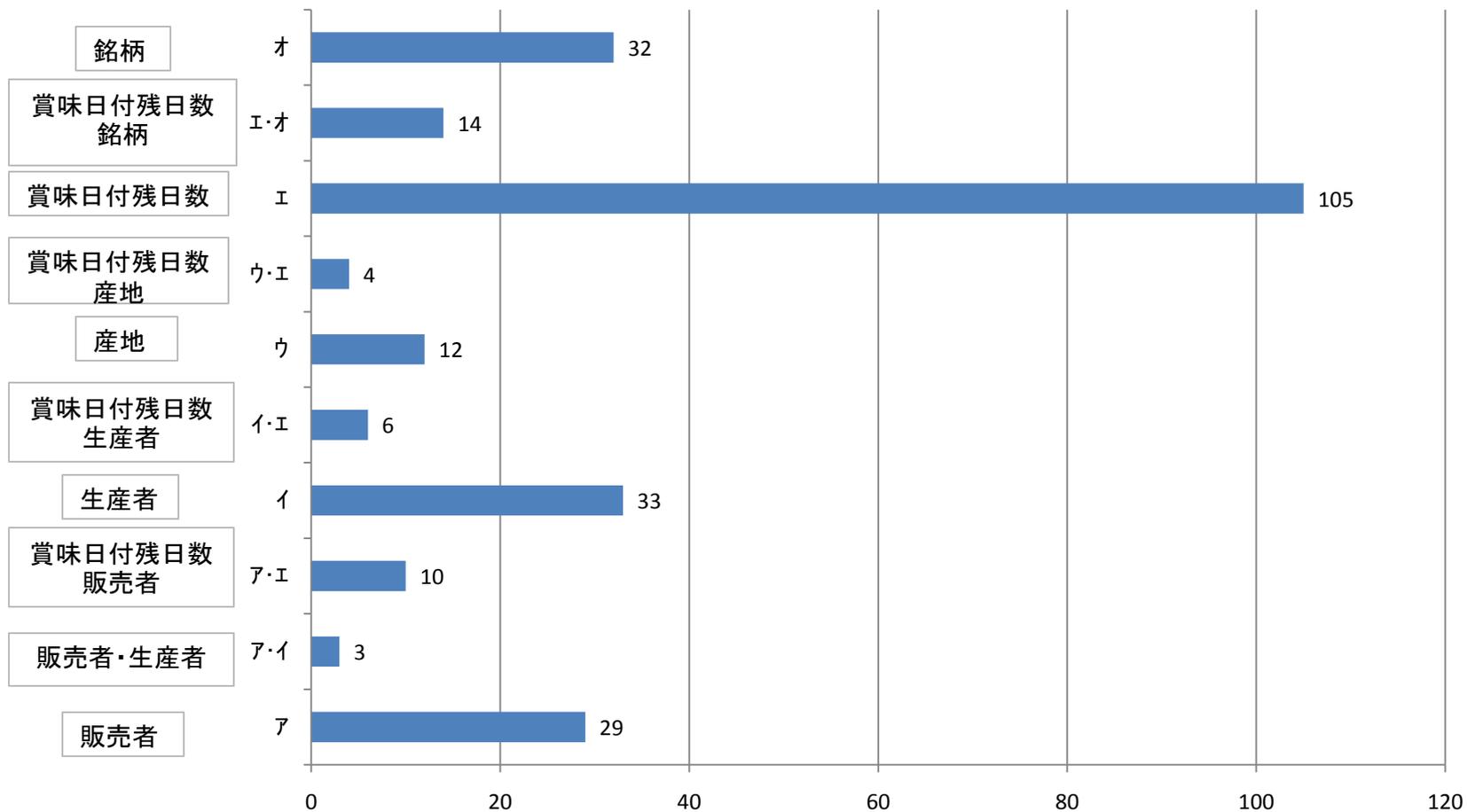
鶏卵購入価格帯別分布



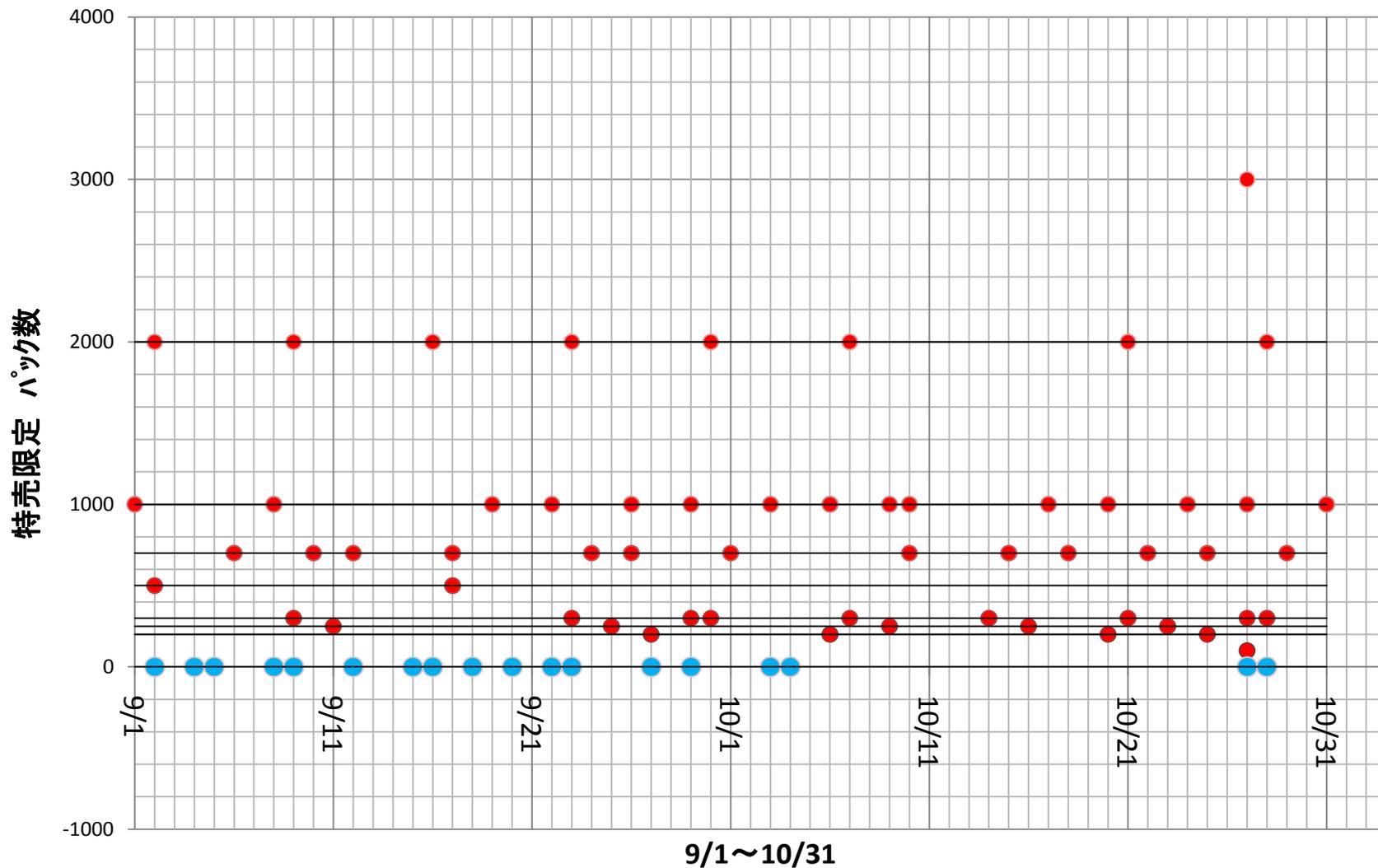
銘柄卵: 281円以上、レギュラー卵: 131円~280円、安売り卵: 130円以下

主婦の鶏卵購入パターンに関するアンケート調査

鶏卵の選択基準



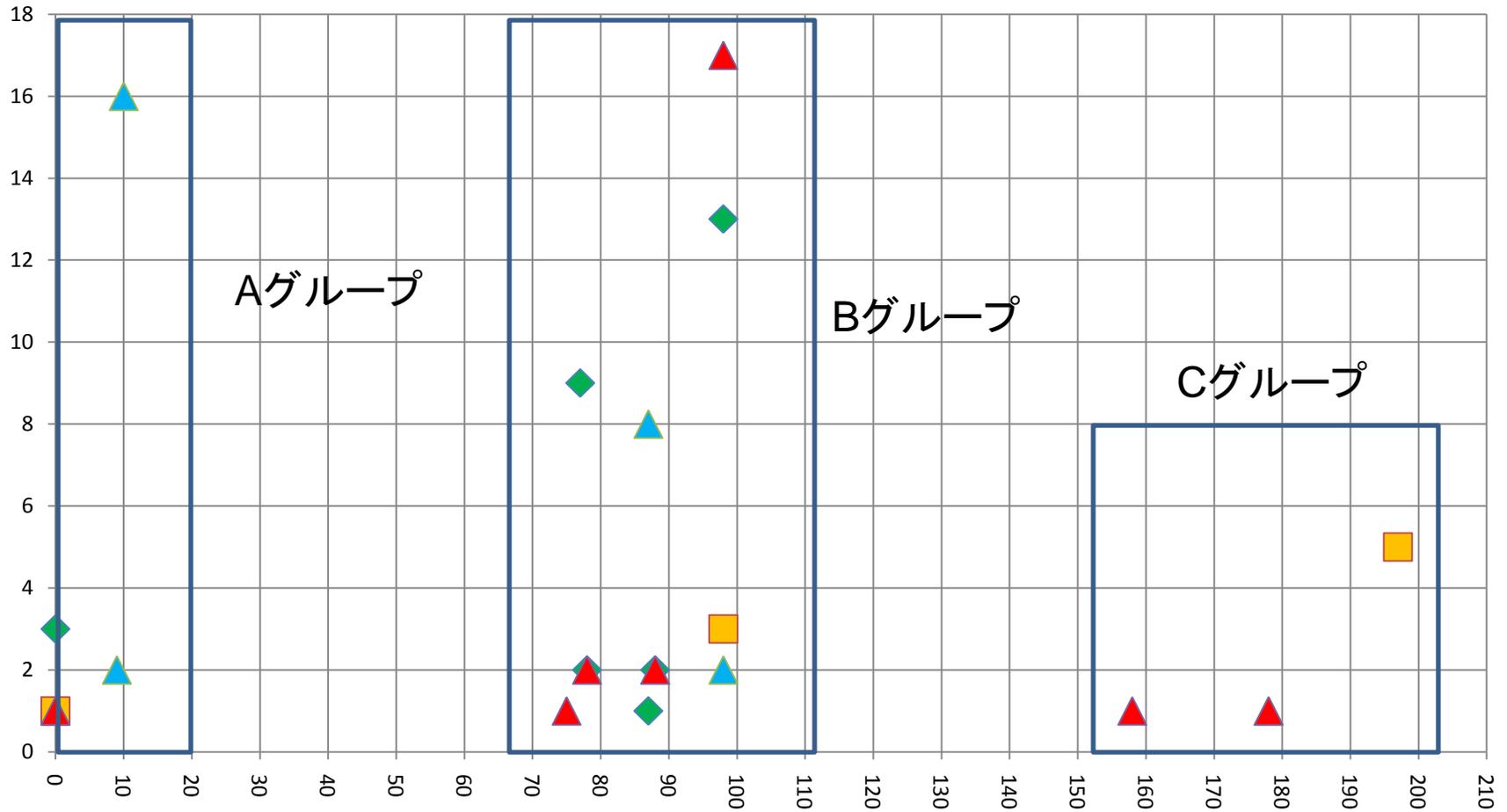
千葉県茂原市の特売頻度及び規模



青点: 無制限

千葉県茂原市特売価格帯及びアイテム (パック単価)

◆ M ■ L ▲ MIX小 ▲ MIX



特売卵サンプルの品質(千葉、福島、山形)

データ	通常	特売	総計
平均卵重	63.8	61.9	62.6
卵重 CV	5.0	3.6	4.2
平均卵殻厚	0.330	0.335	0.333
卵殻厚 CV	7.8	6.5	7.1
平均 HU	79.6	77.6	78.4
HU CV	7.1	6.6	6.8
平均卵殻強度	3.5	3.5	3.5
卵殻強度 CV	18.1	16.0	16.9
平均卵黄色	11.8	11.8	11.8
平均格外率	5.0	10.0	7.7
平均賞味期限 残日数	9.1	11.3	10.5

消費者の鶏卵に対する意見(1)

- 1)アレルギー
 - 子供が卵白アレルギーの為、餌・生産者・賞味期限を必ずチェックする。
 - 注目する餌添加物はヨモギ・ウコギ・木酢で高くても買う。
 - 美味しくてアレルギーを持つ子にも食べさせられる卵を作ってほしい。
- 2)コレステロール
 - コレステロールが高いためなるべく卵を食べない様にしている。
 - コレステロールの風評があるが栄養的に優れているので子供には食べさせている。
- 3)栄養
 - 栄養価が高く、安価で歓迎、大事な栄養源、料理に不可欠
- 4)価格
 - 家族が減少し良いものを少し、子供の成長期は量優先
 - 卵は栄養価が高く重宝だが高齢者二人では食べなくなった。品質を落とさぬなら5円/個位値上げしても良い。
 - 生産者の生活もあるので安定した価格が望ましい。

消費者の鶏卵に対する意見(2)

4) 価格

- 単価が安く生産者には気の毒に思う。私共も100円野菜を販売しています。
- 他の食品に比べいつも安定的に安い。今でも優等生と思う
- 大した金額でもないのに高いもの(産直・平飼い)を買っているが品質の差はわからない。
- 以前は高級銘柄を選んだが今はある程度のもので納得、生食用は6個パックの良いものを選んでる。
- 鶏卵は安くておいしく助かる。購入価格は200円までとしている
- 身近な商品のため新鮮な卵をより安く販売してほしい

5) 安売り

- 何故安く売なのか不明、古くなって安くするのか？買う側は分らない。鮮度のしっかりしたものであれば値段は多少高くても良い。
- 安売り卵に疑問、安売り卵の品質は不明、すごく安い卵は心配、大丈夫か？
- 安売り出来る原因は何か？
- 特に安売りに期待してない。安定した品質・値段のものに満足している。
- 用途により使い分けるが、安物は使わない。
- あまり安いと価格破壊が起きるので安くて良いというものではない。生産者の生活もあるので安定した価格が望ましい。

消費者の鶏卵に対する意見(3)

6) 表示

- 産卵日が知りたい、生食可能期間・加熱使用時期の表示が望ましい。
- 種類が多すぎ、値段の巾が大きい。飼料が違うとの事だが実際どの程度か不明
- 種類や多くの機能をうたうものがあり、選択困難。特に何かを加えて「強化」を強調するのは歓迎しない。
- 消費者が安全性、新鮮、味が濃い等がパックの表示情報から 視えるものが良い
- 賞味期限の設定基準が不明確である。産卵日に統一してほしい。
- 色々ありすぎてあまり考えない。店頭で飼育環境・飼料内容表示が望ましい。

7) 品質

- 生食用に鶏を飼っているが産卵後2日以内の卵があれば高くても買いたい。
- 割ってみて盛り上がり方で鮮度判断。黄身の色で自己判断
- 生産者を信頼したいので生協で購入
- 購入銘柄を決めている。信頼・安心できるもの。産地表示・外国産不信。
- 毎日使うので安全な卵がほしい。

営業担当者の声(1)

- 1) 特売の実施
 - 通常卵の特売は週1回が主流、曜日特定(卵の日)
 - 安売り専門店・ローカルスーパーチェーンの実施が多い。それにつれ大型チェーンも対策を打つ。大型店ではプライベートブランド品や特殊卵の特売も実施し始めている。
 - パック卵需要の内、特売卵の数量比率は60%以上(問屋、通常価格- α 、銘柄卵特売を含むいわゆる再生不能の安売りは10%程度)
 - 特売需要の内、銘柄卵(PB含む)比率は30%程度で上昇傾向。
- 2) 特売卵の品質及び需給調整
 - 商品は定重量パックが主流。MS~LLのミックスでパック当たり重量を保証(580g~610g)
 - 需要の山・谷は必ずあり、鶏は生き物だから急な生産調整はできない。最大需要に合わせる生産をする為、余剰分はこれに押されて平均価格は低下する。かつては余剰卵の大部分は加工向けで吸収されていた。
- 3) 特売価格について
 - 通常卵の特売店頭価格は100円未満で定価。競合店の価格対応、値頃感訴求
 - ほとんど数量限定あり。値下げ分負担は基本的に店舗で歩積み金からの支出と納入業者の協賛にて賄う

営業担当者の声(2)

4) 卵特売の目的・効果

- 客寄せ効果500パック~1000パック限定、1人又は1家族一点、
- 卵の集客効果を前提として生鮮品の平均売上・顧客単価を上げる。
- 鶏卵はデフレ下の量販店における売上向上への切り札としての役割を果たすが、特売によって鶏卵全体の売上額が減少する事は皮相といえる。

特売商品に対する生産担当者の要望

- 需要の変動を吸収できる特売システムを構築できないか？
- 十分なリードタイムが欲しい。そのために生産・流通両サイドがどの様に対応すべきか？
- サイズを限定した要望に答える事は困難、余剰卵を積極的に利用する事で流通への協力が可能。MIXパック等が望ましい。